

広報

# かに

2013 (平成25年)

2/1

特集

まちの魅力づくり

まちの魅力づくり	…2
「地域福祉」を推進しよう	…4
許しません！市税などの滞納	…6
考えよう！高齢期の食生活	…8
フラッシュ・カニ	…10
暮らし情報局	…12
市長の部屋から	…14

12月28日、  
南帷子小キッズクラブで、  
餅つきが行われました。



# 特集 市民中心で進む

# まちの 魅力 づくり

少子高齢化に伴う厳しい縮小の時代に直面する可児市。市が、今後も元気で活力を維持していくためには、若い世代に“可児市に魅力を感じて”住んでもらうことが必要です。こうした中、「参画と協働」による「市民中心のまちづくり」を基本理念として、まちの魅力づくりを進めています。

## 市民中心のまちづくりが大切

少子高齢化の進行や都市型生活形態への移行など、地域を取り巻く環境の変化に伴い、市民の価値観やライフスタイルは大きく変わっています。こうした変化は、地域社会に新しい課題をもたらし、大きな影響を与えています。子育て支援や地域の安全・安心の確保など、新しい公共サービスが求められるようになってきています。

こうしたさまざまな課題への対応は、行政だけでは困難です。そこで、市民の皆さんに検討段階から積極的に参加してもらい、より良いまちづくりに取り組む「参画と協働」による市民中心のまちづくりが必要です。

## 市民が中心になって進められるまちの魅力づくり

市は昨年度から、市の魅力づくりを次の4つにまとめ、重点的に取り組んでいます。その10のテーマを選び、市民中心によるまちの魅力づくりを進めています。

### 魅力1 安心して子育てができるまち

#### ★地域が子育てに関わる仕組み

働く親を支援し、地域で安心して子どもを預けることができる仕組みつ



くりについて、検討を進めてきました。昨年は、帷子・下恵土・桜ヶ丘地域において、夏休みなどの長期休暇期間中に、地域ボランティアの皆さんが地域の子どもたちを見守る「地域子ども見守りモデル事業」を実施しました。

これらのモデル事業を評価・検証の上、現在の児童クラブ制度を見直し、「キッズクラブ」制度として、平成25年度からスタートさせます。小学生全学年を対象にするとともに、長期休暇だけの保育やボランティアの参加も可能とします。

### ★子どもの安全確保

「わがなごころ安全安心のまち」子ども安全のまち(モデル地区)に指定した下恵土地区内において、不審者警戒中プレートの掲示や、ウォーキングのみわり隊の防犯パトロールにより犯罪発生を抑止に取り組んでいます。今後は、全ての地域住民が参画することで、安全安心な地域づくりを進めていきます。

### ★就学前保育および教育のあり方

市の魅力を高めるための保育・教育のあり方について検討する「就学前の子どもに関する保育、教育等協議会」から、昨年4月に提言書が提出されました。

現在、国において、幼児期の学校教育・保育、子育て支援を総合的に推進する制度が検討されており、提言書と併せてさらに検討を重ね、市の考え方を取りまとめていきます。

### ★いじめに対応する常設の第三者組織のあり方

昨年5月に「いじめ防止専門委員会」を委嘱し、いじめの通報や相談に対応してきました。10月には「可児市子どものいじめの防止に関する条例」を施行し、「可児市いじめ防止専門委員会」を設置しました。学校との連携を強化し、いじめの早期発見や早期対応を図るとともに、市民みんなで取り組む連携づくりを努めていきます。



パンフレットを見て、いじめ防止について考える児童ら



健康フェアのウォーキング大会の様子



**魅力 2**

**リフレッシュできる環境のあるまち**

**★5 環境意識を広めていく仕組み**

「環境まちづくり」を推進する「E」を設置し、日常生活の中で環境に配慮するライフスタイルを広く展開していく仕組みづくりを進めています。8月に行った市民参加の気温一斉調査や11月23日を「可児市里山の日」と制定し可児の隠れた魅力を引き出すなど、環境を意識したまちづくりを展開していきます。



里山の整備をする様子

**★6 市民が憩い・楽しめるリフレッシュ空間づくり**

誰もが心のやすらぎや心のよりどころを感じられるよう、自然との触れ合いや交流ができる空間をつくるため、市内の検討委員会や、市民アンケートなどをもとにルートの設定や整備の方向性について検討を進めています。今後は、市の魅力を内外に発信できるように市全体のリフレッシュルートの選定、整備計画をまとめていきます。

**魅力 3**

**★地域資源の活性化**

**① 地域資源の活用方法**

地域資源の開発と活用によって、地域経済の活性化を図るための戦略を検討する「可児市地域活性化戦略会議」から提出された提言書に基づき、市の観光政策の基本となる観光ブランドデザ

インの策定を進めています。今後は、関係団体やボランティアの参画を得て、観光ブランドデザインを展開していきます。

**② 特産品の活用による魅力づくり**

「可児市地産地消実行委員会」が認定した安全安心な「可児そだち」を市の特産品として可児ブランドの一つに位置付け、各種イベントなどでPR販売を行いました。

今後は、農産物だけでなく、ガラス工芸品などさまざまな特産品もブランド品として掘り起こし、市の魅力発信に活用していきます。



志野茶碗銘「随縁」(非公開)



ガラス工芸



まちの活性化の一翼を担う可児夏まつり

**魅力 4**

**安全で安心なまち**

**★8 健康づくりを市民運動として展開**

昨年度、「歩こう可児3000」運動をスタートさせました。その後、「若葉302」や「今渡台300」など、健康のために各地区で自主的に歩く取り組みが始まっています。今後も、ウォーキング大会などで啓発を行い、健康増進と疾病予防に取り組んでいきます。

**★9 地域医療の課題解決**

安心して暮らすことができるときの地域医療のあり方について、今後検討していきます。



**★10 地域の高齢者福祉**

今号4ページを参照ください。

**今後の取り組み**

さまざまな分野で、まちの魅力づくりに取り組んでいきます。ぜひ、皆さんも参加してください。

問合せ 総合政策課

お互いを認め合い、支え合えるまちづくり

# 『地域福祉』を推進しよう

少子高齢化が急速に進んでいる可見市。この課題には、地域福祉がとて重要になってきます。市民が中心となり、地域福祉に取り組んでいる団体があります。

## 地域福祉計画とは

地域福祉計画(平成21~25年度)は、人と人とのつながりを基本として、困った時に助け合える関係づくり、お互いを認め合える社会づくりを目的としています。また、地域

の持つ力を強め、生かしながら地域福祉推進のための仕組みづくりを進めることとしています。

地域の特性を生かした福祉

市内には、自治連合組織が14地区あり、それぞれに地区社会

福祉協議会(以下地区社協)が設置されています。地区社協では、地域の特性を考慮して福祉の活動を進めています。また、自治会や各種福祉団体もそれぞれの役割に沿った活動を展開しています。これらの連携により、地域福祉が推進されています。



「みんなの家」。どが集う交流の場となっています。

## 帷子地区社協

地域のニーズに応じて

帷子地区社協では、地域の活動団体へ補助金を交付する事業や子育て支援事業、介護講座の開催など地域のニーズに応じた事業を展開しています。

平成23年10月には、高齢者で公共交通機関を利用した外出が困難な人々をサポートしようとする「高齢者送迎サービス」事業を始めました。事務局スタッフ4人と、運転ボランティア32人が事業を支えています。

昨年11月末までの年間利用は2607件、131人の人が利用登録をしています。

事務局スタッフは「利用者さんの「助かります」という声がつれしくやりがいになっています」「運転ボランティアの皆さんの親切な対応を見て、私の考え



帷子地区社協、事務局スタッフの皆さん



帷子高齢者送迎サービス出発式

方まで変わりましたと話しています。

誇り高きボランティアを

会長の品川(まこと)は、「自治会活動＝地域福祉」という認識であり、一体で活動していることが望ましいと考えています。帷子地区社協の事業が充実してきたことなので、継続できるような体制を整えていきたいと思っています」と話します。

また、「皆さんの「かっしょく、プライドを持って誇り高きボランティア」というメッセージを伝えていきます。「人の喜びを我が身の喜びに」という思いを地域で共有したいですね」と話してくれました。



空き店舗を利用した、桜ヶ丘ハイツ地域の拠点施設  
近くに住む高齢者や子どもたち、障がいのある人な

## 桜ヶ丘ハイツ地区社協

「ふれあいやちこしあふれるハイツをつくろう！」と支える人も支えられる人も、楽しみながら暮らせるまちへ」を



ハイツカフェの様子

キャッチフレーズに、桜ヶ丘ハイツ地区社協は、地域福祉の取り組みを進めています。

### みんなの家がオープン

今年度から普段なかなか地域へ出て来られない人たちが集まる場所をつくろうと「ハイツカフェ」を月一回開催しています。集会所や学校を会場に、こだわり「コーヒー」おいしいパンを楽しみながら近所の人たちと交流できるという点で、好評です。11月には、地域の拠点施設「空き店舗」を利用した「みんなの家」を開設し、誰もが楽しんだ交流できる場、情報交換や相談できる場

が身近になりました。

### 地域のことは地域で解決

会長の田原理香さんは「住民がつながり合って、互いに支え合い助け合う地域をつくること」が目標です。ハイツにはその力があると信じています。高齢者だけではなく、子どもや障がいを持っている人など困難を抱えている人たちの現実を暮らしに即して、できるだけ地域の中で解決を図っていきたいと考えています。みんなの家やハイツカフェに多くの皆さんに来てもらえるよう願っています。「話してくれよ」。

## 若葉台自治会

### 市内トップの高齢化率

若葉台の高齢化率は現在37.19%（市平均20.51%）。高齢者福祉については、これまで地域の団体が別々に活動していましたが、連携して進めた方が効果的だと意見がまとまりました。若葉台自治会は「支え合いの街づくり」を行おうと総会で議決して、平成24年4月1日「若葉台高齢福祉連合会」が結成されました。



若葉台「和みの会」

団地内と西町駅地区を循環する移動支援車の「アッシュくん」は、高齢者の利用登録が89人になり「便利で親切」と好評です。高齢者ウォーキング「わかば30」や会食の「和（なごみ）の会」

自治会長の川添清行さんは「県と市の補助金を受け、若葉台支援センター」と「ふれあいセンター」を建設しました。高齢福祉連合会が発足して地域の連携もスムーズになりました」と話しています。

### 安心して暮らせる地域づくり

高齢福祉連合会代表の村上博三さんは「毎月約80人が活動に参加しています。」「息子たちに頼らなくとも、ずっと自分でやっていける」という声も届いており、我が家が安心して暮らしていける地域づくりが多くの住民の手で進んでいます」と話します。



若葉台高齢福祉連合会の皆さん

問合せ 福祉課

# 許しません！ 市税などの滞納

市税の収納率は約98.5パーセントと、多くの市民がきちんと納付をしています。滞納は、公平性を欠く行為です。そのため市は、悪質な滞納者には、財産（預貯金、不動産、給与など）の差し押さえをするなど、毅然とした対応をしています。市税などの納期内納付に、ご理解とご協力をお願いします。

## 滞納は公平性を欠く行為

地方自治は、税金や使用料などの収入で成り立っています。つまり、市民や事業者の皆さん自身が福祉や教育、土木事業などの市民サービスを支えているのです。

市税などを滞納することは、市の財政を圧迫するばかりか、市民サービスに支障を来すことにもなりかねません。また、督促状の送付など、余分な経費を使つことにもつながります。

そして何よりも、納期内にきちんと納付をしている大多数のひとの公平性を欠くこととなります。

## 市税などの収納状況を公表

市は、市税、介護保険料、保育料、水道料金など、数多くの債権（お金の支払いなどの特定の要求をできる権利）を持っています。平成23年度の市税などの収納状況（滞納の発生する恐れのない債権は除く）は、左表のとおりです。

債権全体で、2020億5千万円ほどを収納していますが、20

億円余りが滞納として24年度に繰り越されています。市税と国民健康保険税を合わせた滞納額は18億7千万円余りと全体の約93.89パーセントを占めています。

23年度課税分の市税の収納率は、98.53パーセント（県下21市の中で4番目の高さ）ですが、課税金額が大きいため、滞納繰越額も大きくなっています。

## 市税などを納めずに放置すると...

債権の区分により違いはありますが、市税（強制徴収できる債権）を例に説明します。

市税は、督促状を発送した日から10日を経過した日までに完納されないときは、差し押さえをしなければならぬ」と法律に規定されています。つまり、滞納状態を放置すると、滞納者の意思に関係なく、本来の税額に督促手数料と延滞金を加えた金額が強制的に徴収されることとなります。

延滞金は、年14.6パーセント（納期限から最初の一月月は低率で変動あり）と定められており、銀行などでお金を借りるよりもはるかに高い率になります。

ています。

この結果、滞納者は経済的な不利益を負うだけでなく、社会的な信用を失つことにもなります。

## 悪質な滞納者には毅然と対応

十分に納付できる資力がありながら納付しない場合など、悪質な滞納者に対しては、市主体として毅然とした対応をしています。

強制徴収できる債権では、預貯金・給与・生命保険、不動産、自動車などの財産を差し押さえ、強制的に徴収する滞納処分を積極的に行っていきます。

市税だけでも次のとおり差し押さえを行い、強制的に徴収していきます。

市税の差し押さえ状況

年度	差し押さえ件数	徴収金額(円) (督促・延滞金含む)
21	341	26,238,288
22	1,159	82,352,886
23	1,176	101,835,514

国民健康保険税、保育園保育

# 市税などの収納状況 (23年度)

(単位:千円・%)

区分	債権名	23年度分		22年度以前から残っている繰越額		合計		24年度への滞納繰越額	担当課
		収納額	収納率	収納額	収納率	収納額	収納率		
強制徴収できる債権	市税(国民健康保険税除く)	13,823,324	98.53	205,230	17.74	14,028,554	92.37	1,016,865	収納課
	国民健康保険税	2,688,023	92.32	153,117	17.34	2,841,140	74.87	862,669	国保年金課
	下水道使用料	1,368,161	99.78	6,570	63.24	1,374,731	99.50	3,454	上下水道料金課
	介護保険料	958,390	99.19	1,823	10.64	960,213	97.64	15,366	高齢福祉課
	後期高齢者医療保険料	589,736	99.68	2,693	81.58	592,429	99.58	2,099	国保年金課
	保育園保育料	289,187	98.23	14,891	32.21	304,078	89.28	34,481	こども課
	下水道受益者負担金・分担金	133,225	99.70	62,888	76.64	196,113	90.93	12,310	上下水道料金課
	道路・河川占用料	31,615	100.00	-	-	31,615	100.00	0	用地課
強制徴収できない債権	幼稚園保育料	6,294	99.57	-	-	6,294	99.57	27	こども課
	生活保護費返還金	5,054	40.21	108	6.02	5,162	35.94	9,200	福祉課
	国保資格喪失後受診返納金	1,121	69.95	42	1.59	1,163	27.18	3,128	国保年金課
	児童扶養手当返還金	264	5.79	237	4.88	501	5.29	4,339	こども課
	福祉医療費助成金返還金	121	100.00	0	0.00	121	78.06	34	福祉課
	こども手当返還金	0	0.00	52	21.05	52	14.05	325	こども課
	児童手当返還金	-	-	15	0.62	15	0.62	2,200	
私債権(主に契約によるもの)	水道料金	2,010,141	99.69	10,039	47.43	2,020,180	99.15	17,391	上下水道料金課
	学校給食費	473,188	99.40	1,658	22.03	474,846	98.19	8,301	給食センター
	市営住宅使用料	57,072	98.75	1,923	18.03	58,995	86.17	9,464	建築指導課
	児童クラブ保育料	33,843	99.80	35	14.28	33,878	99.90	92	こども課
	体育施設使用料	15,833	100.00	-	-	15,833	100.00	0	スポーツ振興課
	学校使用料	4,045	100.00	-	-	4,045	100.00	0	
合計		22,488,637	-	461,321	-	22,949,958	-	2,001,745	-

注:公民館使用料や証明書の手数料など、前払いまたは現物と引き換えに料金を納付することが条件の債権は、掲載しておりません。

納付できない事情がある人は...  
 災害、病気、失業や事業の損失などの事情により、市税などの納付が困難な場合は、納付の相談を受け付けています。早めに各担当課まで連絡してください。  
 問合せ 収納課または各担当課



タイヤロックをして差し押さえをする自動車

料などについても同様の取り組みを講じます。  
 また、強制徴収できない債権(私債権含む)についても今年度から一部の債権については、弁護士に回収を委託するなどの取り組みも開始いたします。  
 市では、少しでも多くの財源確保と負担の公平性を図るため、これからも適正な収納徴収を実施し、滞納額の縮減に努めます。

いつまでも健康に過ごすために

# 考えよう！高齢期の食生活

市内のおよそ5人に1人は65歳以上の高齢者です。いつまでも健康で過ごすための基本となるのは食事です。そこで市は、高齢者の食生活に関するアンケートを行いました。その結果、いくつかの課題があることが分かりました。

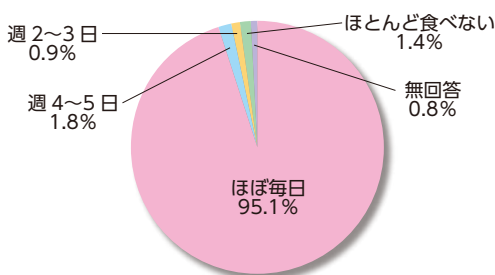
市は、高齢化率(21.1%)、24年10月1日現在)が上昇している中、高齢期の市民の皆さんがいつまでも健康で過ごすことができ、また、日々の生活習慣について問題意識を持ってもらうため、65歳以上の男女の中から、3000人を無作為に抽出し、アンケートを実施しました。

調査では、18818人から回答があり(60.6パーセント)、高齢者の食に関する考え方や現状を知ることができました。

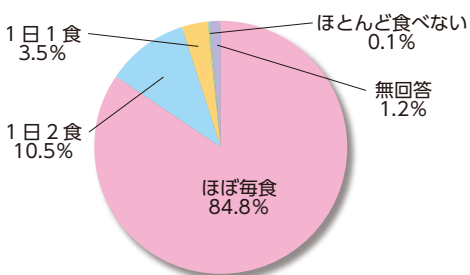
## 偏りぎみな食事

朝食はほぼ毎日食べていますが(図1)、ご飯やパン、麺などの「主食」はほぼ毎食食べる人が84.8パーセントであったのに対し、1日2食や1食といった人を合わせると14.0パーセントで、エネルギーのもととなるものが不足している傾向が見られます(図2)。また、体の血や肉のもととなる重要な食材である「主菜」(肉・魚・卵・大豆製品など)を、ほぼ毎食食べている人は全

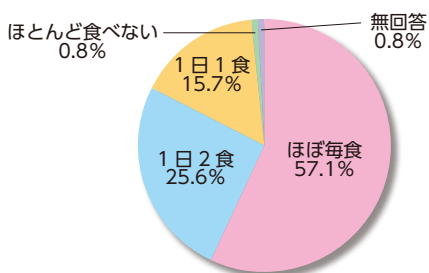
朝食を週に何日食べますか (図1)



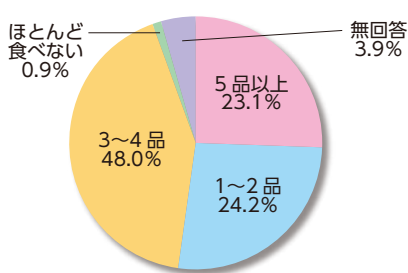
主食を1日に何食食べますか (図2)



主菜を1日に何食食べますか (図3)



野菜料理を1日に何品食べますか (図4)



### 副菜

野菜、キノコ、海藻など主にビタミン、ミネラル、食物繊維を含む食品をいいます。身体の調子を整える働きがあります。

### 主食

ご飯、パン、麺など主に炭水化物を含む穀物類のことをいいます。熱や身体を動かすためのエネルギー源となる食品です。

### 主菜

肉・魚・卵・大豆製品など主にたんぱく質を含む食品をいいます。身体の血や肉をつくるものになります。



体の57.1パーセントで、主食の摂取と比較すると毎食食べている人は少ないと言えます(図3)。

さらに、生活習慣病予防のため特に野菜料理は、1日5品以上食べることが理想とされていますが、それを満たしている人は23.1パーセントでした。1~2品しか食べない人も24.2パーセントで、野菜の摂取量が不足しています(図4)。

## 高年齢ほど低栄養に

栄養過多が生活習慣病の要因となるため注目されるのに対して、栄養不足は一般的に軽視されがちです。しかし、食事から取るエネルギーやタンパク質が不足し低栄養状態が続くと、それを補うため、体に蓄えられた脂肪や筋肉が使われてしまいます。これが「痩せ」や「体重減」を招くことにもなり、調査結果にも現れています。

年齢が上がるに従いBMRが18.5未満で痩せていると判定される人や(図5)、体重が半年で2~3キログラム





ム以上減少する人(図6)が増加する傾向があり、いずれにも該当する人は低栄養の可能性が高くなります。

低栄養状態になると、抵抗力が低下し風邪などの病気になるやす、治りにくくなり、老化を加速させます。

低栄養の予防のポイントは、バランスの取れた食事と、適度な運動です。主食、主菜、副菜(野菜・キノコ・海藻など)をバランス良く取るよう心掛けましょう。また、屋内だけの生活で身体活動量が低下すると、食欲の低下につながります。歩こう可児3000の積極的な実践や、趣味や地域活動を通じて社会参加など、外出する機会をつくり、食

事・運動・休養の生活リズムを整えることが大切です。

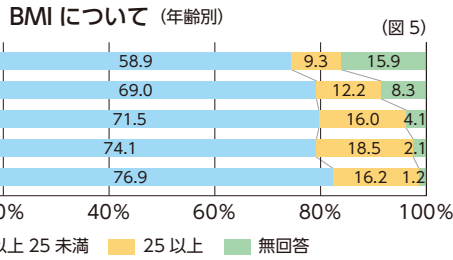
### 年齢とともに困りごとが増加

食事で困っていることについて年齢別に見ると、年齢が高くなるにつれ「困っていることはいくつか減り、不都合を感じる人が増えることが分かります(図7)。困りごとには、高齢になるほど交通手段が制限され、なかなか買い物へ行けないことや、口腔機能の低下から、かむ力や飲み込む力が弱まり、固いものが食べにくく、飲み込みにくくなる傾向が多くなっています。高齢になるほど調理が負担になってい

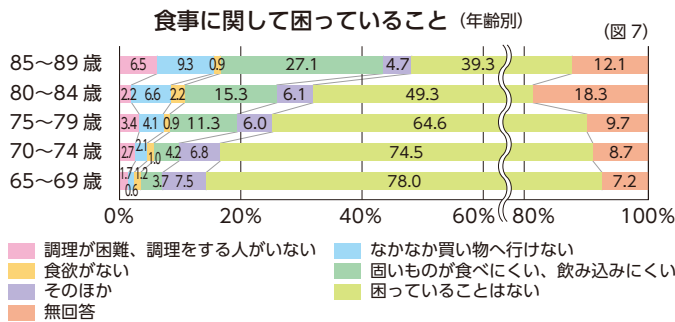
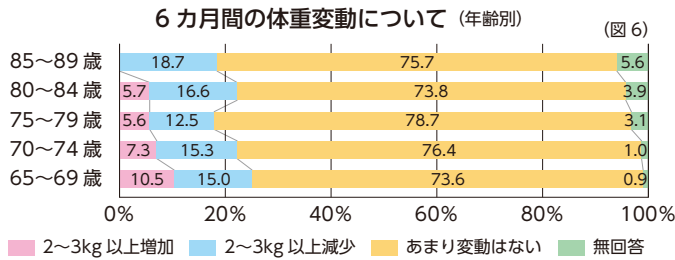
ることが分かります。

また、食事について学ぶ機会があればどんな内容を希望しますか?という質問には、簡単に調理できる料理を希望する人が26.3パーセント、高齢期全般の食事についてが17.8パーセントだったほか、塩分や油を減らす工夫、カルシウムを取る工夫についても学び意欲が見られました。

およそ65パーセントの人が生活の基本である食事に関して興味を持ち、栄養バランスに配慮し、食生活を充実したいと考えていることが分かりました(図8)。



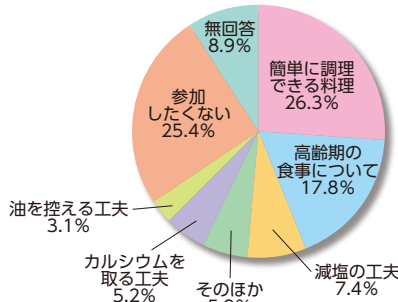
※BMI(体格指数)とは:体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))で算出します。肥満や痩せの判定に使用します。18.5未満が痩せ、25以上が肥満と判定されます。



### 食事を見直し健康な日々を

市は、高齢期にある人たちの健康増進に対する取り組みとして、歩こう可児3000など運動に関するものや、健診事業を行ってきました。そして、今回のアンケートの結果、食に関して年齢

食事について何を学びたいですか (図8)



とともに栄養のバランスが悪くなる傾向にあることや低栄養、困りごとの増加など、いくつかの課題が分かりました。そこで、これらの課題を解決するため、今後、市では、高齢期にある人たちが健康維持のため必要な栄養を取ることができるよう、食に関する取り組みを行います。

いつまでも健康に過ごすことができるよう、早い時期から食事に関心を持ち、高齢期を明るく過ごしましょう。

### 元気はじらつ料理教室開催

家事の中でも毎日の食事の準備は年齢とともに負担になるため、内容が偏ったり、量が少なくなったりと粗食になりがちです。そこで、高齢期にある人の食事について学ぶ機会として、次のとおり料理教室を開催します。

- 期日 3月15日(金)
- 時間 午前10時~午後0時30分
- 場所 総合会館(市役所向かい)
- 対象者 市内在住の65歳以上の人
- 定員 20人(先着順)
- 参加費 3000円(食材費)
- 持ち物 エプロン、三角きん手ふき
- 筆記用具

内容 講話(高齢期の生活のポイント)、電子レンジや缶詰を使用した簡単クッキング

申込期間 2月15日(金)~28日(木)

申込・問合せ先 健康増進課



◀山頂から見る  
初日の出  
(鳩吹山)

▶新年を山頂で迎えた  
参加者 (浅間山)



## 1/1 初日の出に願いを込める

鳩吹山と浅間山で、恒例の元旦登山が行われました。天候にも恵まれ、家族連れやグループなど、市内外から1,230人が参加しました。

山頂では、手を合わせて今年一年の無事を祈ったり、携帯電話で写真を撮ったりする人たちの姿が見られました。

参加者は「山頂から日の出を見ることができて、良い年になりそうです」と話していました。

## 1/1 新春の兼山を駆け抜ける

除夜の鐘を聞きながら兼山地内を走る、「2013新春マラソン大会」が開催されました。

これは、元気に1年を乗り切れるよう、兼山公民館が主催する恒例の行事です。市内外の子どもからお年寄りまで145人が参加し、新春の兼山を駆け抜けました。

親子で参加した人は「家族そろって元気に新年のスタートが切れました。健康な一年にしたいです」と話していました。



元気にスタートを切る子どもたち (兼山)



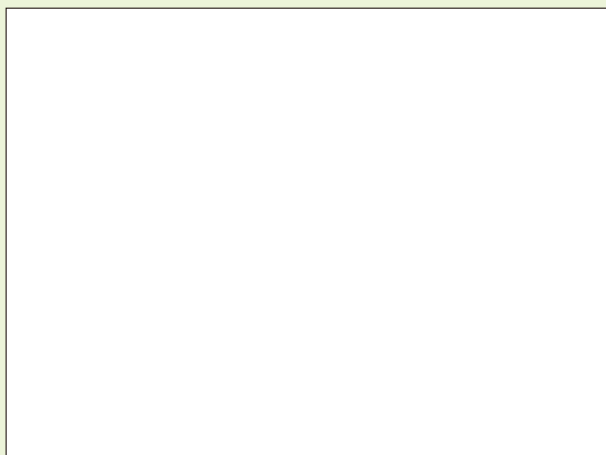
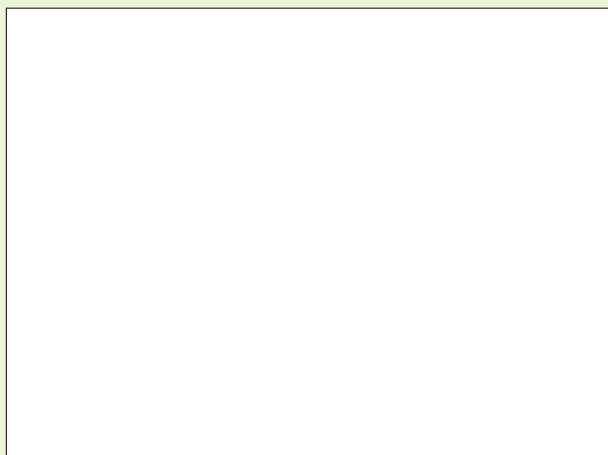
真剣な表情で筆を走らせる児童たち

## 1/5 一筆に新年の願いを込める

市内3カ所の児童センター（広見、帷子、桜ヶ丘）で書き初め大会が行われ、135人の児童が参加し、力強く筆を走らせていました。

課題は学年ごとに違い、「たこ」「こま」「希望の春」など新年にふさわしいもので、子どもたちは手本を見ながら、真剣な表情で書いていました。

参加した児童は「なかなかうまく書けた。今年をもっと上手になれるようにしたい」と笑顔で話していました。



広  
告



烏峰太鼓の演奏



全員で「旅立ちの日に」を合唱

## 1/13 新成人が色鮮やかな人生を誓う

文化創造センター・アールで成人式が行われ、新成人991人のうち、778人が出席しました。記念イベントでは、烏峰太鼓の演奏や恩師の紹介、全員合唱がありました。

富田市長は「素晴らしいまちをつくるために、大人の一員として、力を貸してほしい」と式辞を述べました。

また、企画運営委員会会長の金子拓矢さんは「ほかの人の支えになれる大人になり、色鮮やかな人生の完成に向かってまい進する」と誓いの言葉を述べました。

## 1/14 心新たに精進を誓う

錬成館で柔道場鏡開き式が行われ、市柔道協会会員など約50人が参加しました。

青木紘一市柔道協会会長が「心と技術を磨き、お互いが上達するよう1年間目標を持って稽古を継続してほしい」と話しました。

稽古後には、子どもたちによる餅つきが行われ、保護者らが用意した豚汁などと一緒においしそうに食べていました。



寒稽古に励む子どもたち



交互に朗読する佐藤さんと紺野さん

## 1/19・20 「恋文」朗読公演を開催

朗読劇「シリーズ恋文vol.3」が文化創造センターで開催され、俳優の佐藤B作さんと紺野美沙子さんが朗読しました。演出は劇作家のマキノノゾミさんで、即興演奏はピアニストの黒木由香さんと一流キャストがそろいました。

朗読した「恋文」(ラブレター)20通は、秋田県能代市(旧二ツ井町)が公募した「恋文コンテスト」の作品から選んだものです。切なさやユーモラスにあふれた内容で、満席の会場は涙と笑いの感動に包まれていました。

### 「広報かに」に広告を掲載しませんか 広告主を募集!!

「広報かに」に広告を掲載しています。市民の皆さんへの広告媒体として利用してみませんか？(発行部数 約 32,500 部)

**料金** 1日号 3万円(カラー)  
15日号 2万円(2色刷り)

**掲載スペース** 1枠 縦 60mm × 横 80mm (この枠の大きさです。2枠分をまとめて利用も可)

※広告掲載には一定の要件、基準があります。

**申込・問合せ先** 総合政策課

広  
告

### 東アジア最古のウマ化石

市内には平牧地区や帷子地区など、太古の動植物の化石が多く発見される地層があり、古くから研究者が調査してきました。

近年、福井県立恐竜博物館によって可児市の平牧層から出土したウマの祖先の顎の化石が再調査され、東アジア最古級のものであることが明らかになりました。

通称「ヒラマキウマ」の名で知られるこの化石は、アンキテリウムという3本の指を持つウマグループの一種で、約2000万年前に北アメリカからベーリング地域を経てユーラシアに渡り、約1000万年前に絶滅しました。今回再鑑定された化石は1800万～1700万年前のもので、中国のアンキテリウムの化石との比較の結果、別種であることが分かりました。このことは、アンキテリウムが日本において独自の進化をたどったことを意味しており、東アジアにおける哺乳動物の進化の過程を解明する上で非常に大きな一歩であるといえます。

現在、可児郷土歴史館に化石の複製が展示されています。



アンキテリウム化石複製  
(可児郷土歴史館所蔵)



アンキテリウムの復元図  
(福井県立恐竜博物館 イラスト/山本匠)

問合せ先 教育文化財課

### わが家の防災メモ Vol.5

#### わがまちの防災リーダー

市では今年度、防災リーダー養成講座を初めて開催しました。この講座は、地域における防災活動のリーダーとなる人材を育成することを目的としています。

今年度は自主防災組織の代表者など27人が受講し、全4日間の講義や実習を通じて地域防災に必要な知識・技能を身に付けるとともに、特定非営利活動法人日本防災士機構が認証する防災士資格を取得しました。

講座を修了した皆さんは、今後地域や職場でそのスキルを生かし、さまざまな活動を行っていきます。市では、これからも自主防災活動の活性化や防災リーダーの養成、防災講座の開催などに継続的に取り組み、地域の防災力向上を目指します。



防災リーダー養成講座の様子

問合せ先 防災安全課

### 「きっずナビ～子育てハンドブック～」

子育て情報誌「きっずナビ」は、平成17年の初版発行以降、毎年修正を加えながら発行しており、こども課の窓口や母子手帳交付時などに併せて配布しています。

この情報誌は、子育てに関する各種手続きや相談窓口、市内の病院や公園などを幅広く掲載しています。

子育ては、長い道のりです。パパやママが一生懸命頑張っても、うまくいかないときもあります。そんなときは、「きっずナビ」を見てもらい、子育ての役に立ててもらえたらと思います。

なお、「きっずナビ」は市のホームページからダウンロードできます。(トップメニューの出産・育児→子育て情報→子育てハンドブック「きっずナビ」)



問合せ先 こども課

市民が  
おすすめする

## 早寝、早起き、朝ごはん 簡単！朝ごはんレシピ Vol.9



### 鮭マヨチーズごはん

#### 【材料（4人分）】

ごはん 600g / 鮭フレーク 80g  
マヨネーズ 大さじ4 / キャベツ 80g  
スライスチーズ 4枚 / 小ネギ 20g

#### 【作り方】

- ① 鮭フレークとマヨネーズを混ぜる
- ② キャベツは千切り、小ネギは小口切りにする。
- ③ 耐熱の器にご飯を盛り、キャベツ、①、チーズ、小ネギの順に載せ、レンジで1～2分加熱する。

考案者：今渡南小学校2年生 亀井玲那さん



#### コメント・ポイント

カルシウムが取れるお手軽どんぶり、具たくさん汁物と一緒にどうぞ。

#### 【栄養成分（1人当たり）】

エネルギー 433kcal / たんぱく質 12.2g /  
脂質 15.7g / カルシウム 117mg / 塩分 1.0g

問合せ先 健康増進課



# 市長の 部屋から 22 施策や考えを発信



## 「ありがとうございます！ 尾木ママ」

1月10日と11日、尾木ママこと尾木直樹先生が、2日間も可児市に滞在してくれました。

ちょうど1年ほど前に、私が先生に直接お目に掛かり、いじめ問題への対応をはじめ、本市の子育ての考



アールでの講演会

え方などを説明し、指導と協力をお願いいたしました。尾木先生は、超多忙にもかかわらず、快くお引き受けくださいました。そして、今まで具体的ないじめ問題への対応や、いじめ防止条例の制定などに際して、丁寧なご指導をいただけてきました。今回もその一環で、大阪市の体罰事件もあつて多くの番組出演依頼が殺到する中、貴重な時間を割いて、可児市に来ていただいたものです。

市内6校の中学生3000人との交流は、尾木先生にとっても初めての、とても貴重な経験だったようです。いじめ防止条例施行からわずか3カ月余りで、各校の生徒一人一人が、特徴的な取り組みを率先して行っていることに、感心しきりでした。可児市の中学生との触れ合いは、「とっても楽しかったわ」とのこ



生徒の質問に答える尾木ママ(蘇南中学校)

とでした。

市民向け講演会では、可児市が検討を始めている「マイナス10カ月からの子育て教育」の方向性を示していただいた、素晴らしいお話でした。

子育ては、お腹の中にいる時から始まっています。胎児は命を授かった3カ月ごろから聴覚機能が発達し始め、まだ見ぬ世界の声を聞き、記憶に残します。だからこそ、妊婦の時から赤ちゃんに対して、穏やかな愛情をたっぷり注ぎ込んで育てることが大切です。「どうしたの?」「そう、それは大変だったわねえ」という、思いやりと共感の声掛けが、子育ての魔法の言葉です。



生徒とのパネルディスカッション(中部中学校)

家庭、地域、職場、学校、行政、市民みんなで、「子育てするならば可児市」と、胸を張って言えるような、そんなまちにしていきたい。尾木ママは、これからもそんな私たちに応援してください。

尾木ママ、本当にありがとうございます。

市長 富田成輝

広報かには、ボランティアグループ「音訳・ヴォイスの会」の皆さんにより音訳されています。音訳版を希望する人は、図書館本館へご連絡ください。



記念冊子「オーイしんちゃん」  
好評発売中!



まだ若いのに、最期は「ピンピンコロリ」が良いと言う知人がいます。ピンピンは健康のことで、コロリは死のこと。病気などを患い、看病や介護などで家族に迷惑をかけたくないので、健康なままコロリといきたいということのようです。

今月号に、高齢期の食生活についての特集があります。アンケート結果から高齢期には低栄養など特徴的な課題があることが分かりました。食に関する課題は年代によっても異なるのですが、課題を解決するためのポイントは、バランスの取れた食事と適度な運動。

これまで、分かっているけどなかなか実践できていない健康づくりですが、自分のためだけでなく、「家族のために」ということであれば、がんばれそうな気がします。(小)

## 図書館だより

市立図書館 本館(広見) ☎②5120  
 帷子分館 ☎⑥8530  
 桜ヶ丘分館 ☎④3473

### 展示のご案内

本館 2日(土)～17日(日)  
 「<sup>こうがぶ</sup>光画部のすてきな写真」展 (光画部)  
 帷子分館 ～21日(木)  
 「四季の絵手紙」展(絵手紙教室のみなさん)

### 新しくいった本

【一般書】  
 「拉致と決断」 蓮池薫/著(新潮社)  
 「司馬遼太郎旅のことは」 司馬遼太郎/著(朝日新聞出版)  
 「私と踊って」 恩田陸/著(新潮社)  
 【児童書】  
 「わたしのゆたんぼ」 きたむらさとし/えとぶん(偕成社)  
 「いのちのヴァイオリン」 中澤宗幸/著(ポプラ社)  
 「ルドルフとスノーホワイト」 齊藤洋/作 杉浦範茂/絵(講談社)

休館日 本館・分館共通 毎週月曜日、  
 2/19(火)～22(金)(蔵書点検のため)

### 蔵書点検のおしらせ

図書館は蔵書点検のため、2月19日から22日まで臨時休館します。利用者の皆さんにご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願い致します。

※資料の返却は本館・分館の返却ポストで行うことができます。

休館施設 本館・帷子分館・桜ヶ丘分館・移動図書館ひまわり号



【蔵書点検の様子】

所蔵するすべての本のバーコードを、一冊ずつなぞって所在を確認します。

## MEDIA INFORMATION

### CATV いきいきマイタウン 番組案内

ケーブルテレビ可見 (デジアナ7ch、デジタル12ch) で毎日放映中!!

2/2(土)～8(金)

#### ●好きなのはカニダー

市内でも少子高齢化が急速に進んでいます。この課題に対応するには、お互いを認め合い、支え合う「地域福祉」が重要になってきます。地域福祉を積極的に進めている団体をカニダーがレポートします。

★市長の部屋から

2/16(土)～22(金)

#### ●市民中心で進むまちの魅力づくり

少子高齢化に伴う厳しい縮小の時代に直面する市が、今後も元気で活力を維持していくためには、若い世代に「市に魅力を感じて」住んでもらうことが必要です。

★タウン情報

2/9(土)～15(金)

#### ●高齢者の食事情

市は、高齢化率の上昇の中、特に高齢期にある市民の皆さんがいつまでも健康で過ごすことができるよう、65歳以上の市民に食に関するアンケートを行いました。その結果から分かったことは…

★レッツゴー！市役所(都市整備課)

2/23(土)～3/1(金)

#### ●許しません！市税などの滞納

市税などを滞納すると、市の財政を圧迫し、市民サービス低下につながります。納期内にきちんと納付する大多数の市民との公平性を保つためにも、滞納は許されません。

★レッツゴー！市役所(建築指導課)

放送時刻 月～金曜日 7:30・12:00・17:00・19:00・21:00・22:00  
 土・日曜日 7:30・12:00・14:00・19:00・20:30・22:00

※番組の内容や時間は変更することがあります。

※デジタル12chのデータ放送で、市政情報も発信しています。

FM rara 55  
 76.8MHz  
 KANI, MINOKAMO, MITAKE

放送中

災害など緊急時には、  
 特別放送をします。

市政情報を月～金の午前8時、土曜日は午前9時7分から放送しています。毎週木曜日の午前11時20分～11時40分は、市長や市職員が出演するコーナーもあります。お聴き逃しなく!



ロウバイは、1～2月の真冬に満開の花を咲かせる数少ない花木の一つです。光を灯したように優しく咲く黄色の花を見ると、一足早い春の息吹を感じ、心が温まります。

(花フェスタ記念公園)

# 心の風景

216



一足早い  
春の息吹



## 今月の一枚

今年度の施政方針で最重点施策となっている「防災力の向上」。地域防災の要である消防団員が、決意新たに望んだ新春恒例行事「消防出初式」が1月6日に福祉センターと市役所で行われました。

一斉放水では、可見川に向かって色とりどりの水柱のアーチが描かれました。



**広報かに** No.734  
2013年2月1日号

編集・発行／可見市役所 〒509-0292 岐阜県可見市広見一丁目1番地  
☎(0574) 621111 FAX(0574) 610345 URL <http://www.city.kani.lg.jp/>

市の人口 101,420人 (男/50,281人 女/51,139人) 世帯数 38,964世帯(1月1日現在)  
(前月より199人減・91世帯減、昨年同月より73人減、17世帯減)

「広報かに」2月1日号、1部当たりの印刷費は約11.26円(税込み)です。



広報かにには100%再生紙を使用しています。  
植物油インキで印刷されています。